



[2018ゲートボール大会20180509](#)

[2018ゲートボール大会20180509](#)

第29回静岡県すこやか長寿祭スポーツ・文化交流大会のゲートボール競技大会『すこやかシップ2018』が5月9日(水)伊豆市天城ドームで開催されました。
静岡県ゲートボール協会会長で昨年ねりんピック選手団長を務めた土居征夫会長挨拶の後、試合が始まりました(写真左右)。



[2018ゲートボール大会20180509](#)

[2018ゲートボール大会20180509](#)

県内各地から28チームが参加。天城ドームの外野芝生に設けられた7つのコートに分かれ、ゲートボール競技が一斉にスタートしました(写真左)。
4チームのリーグ戦方式で行い、そのコートの1位を決定します。写真右は組み合わせ表の掲示板。



[2018ゲートボール大会20180509](#)

まず試合前の挨拶から競技が始まりました(写真)。



[2018ゲートボール大会20180509](#)

第1ゲートの通過を目指します(写真左)。白線が2本ある中央から打った前のチームに対して、白線ぎりぎりから第1ゲートを狙っています(写真右)。

正面からゲートを狙うのに比べリスクが高いのですが、ゲート通過した後のボールの位置を考えての作戦でしょうか？きっと日々練習をして、高いレベルにあるんですね。



[2018ゲートボール大会20180509](#)



[2018ゲートボール大会20180509](#)

ゲームが終わり、握手をして終了。交流会らしくゲームは真剣ですが、終わればゲートボールを楽しむ仲間です。



[2018ゲートボール大会20180509](#)

富士宮市ゲートボール協会会長の石川富一さん(写真後列右から4人目)とチームの皆さん。石川会長に富士宮市のゲートボールの取り組みについて伺いました。

富士宮市ではゲートボールの町づくりを行っています。90代が5~6人いて、95歳の方が現役でゲートボールを楽しんでいる。また、ゲートボールは脳を使うので、認知症予防の効果が出ていると熱く語って頂きました。



[2018ゲートボール大会20180509](#)

生きがい特派員の仲間も参加していました。ゲームの後、審判をしていました(写真)。



[2018ゲートボール大会20180509](#)



[2018ゲートボール大会20180509](#)

昼食・休憩をはさみ3ゲームのリーグ戦が終了しました。勝ち数、得失点差で成績が決まりました。土居会長から表彰状を受ける『いなさ昇竜梅チーム』、優勝杯と優勝盾、表彰状と副賞を受け喜ぶチームの皆さん(写真左右)。



[2018ゲートボール大会20180509](#)



[2018ゲートボール大会20180509](#)

準優勝の表彰状を受ける菊川ドラゴンの代表者とチームの皆さん(写真左右)。大会は無事終了しました。大会を支えた役員の皆さん。そして交流大会に参加した選手の皆さん。お疲れ様でした。取材した私は、試合中ずっと立っていただけませんでした。ゲートボールは体力も知力もチームワークも必要だと改めて学びました。

取材：東部・田方地区生きがい特派員

加藤 孝